

# 議会だよりの入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No.144

2008年1月27日



べったんべったん おじいちゃんとおもしろくもちつき (小摺戸保育所)

12  
月  
定  
例  
会

うるおい館条例の制定	2P
道路特定財源暫定税率の延長を (議員提出議案)	3P
健全財政の維持を (決算特別委員会)	4P
後期高齢者の検診料は (委員会レポート)	5P
町政を問う 代表質問・一般質問 (9議員)	6P~14P
議会組織決まる・臨時議会	15P
カンボジア研修で感じたこと	16P

# 入善まちなか交流施設 うるおい館条例の制定

12月議会の  
あらまし

12月議会は、4日から14日までの11日間開会し、初日に平成18年度決算を認定した。また、町長から提案のあった一般会計など補正予算5件、入善まちなか交流施設うるおい館条例の制定など議案5件、議員提出議案2件を審議し、すべて可決した。

また、請願3件、陳情2件を審査したほか、7日、10日に代表・一般質問が行われ、9人の議員が質問に立ち、論戦が交わされた。

## 補正予算の概要

子宝支援の対象者数の  
増により 150万円

第3子以降の出生者数の増により、  
子宝支援金を増額する。

簡易水道施設整備に

157万円

2地区に対し、簡易水道施設整備の  
さく泉工事に対する補助を行う。  
そのほか、人事院勧告に伴う職員の

給与改定と人事異動などによる人件費  
の調整、老人保険医療特別会計への繰  
出金を増額した。

このことにより、一般会計で299  
3万円の補正となり、総額は105億  
3979万円となった。



完成間近な「うるおい館」

## 条例の制定など

平成20年4月オープン予定の「入善  
まちなか交流施設うるおい館」の指定  
管理者による管理体制、管理基準など  
を定める条例を定めた。

そのほか、古黒部地区の土地改良事  
業に伴い、入善町と朝日町の境界変更  
や、人事院の給与改定勧告を受け「入  
善町の職員の給与に関する条例」の一  
部改正を行った。

また、「富山県企業立地促進計画」に  
基づき、環境施設の面積率と緑地面積  
率を緩和する条例を定めた。

## 企業立地用地の 処分について

入善海洋深層水企業団地に進出する  
株式会社ウーケの企業立地用地として、  
町有地の処分を可決した。

企業立地用地	下飯野232-5
面積	1万2415㎡
処分予定価格	3755万円
契約相手	株式会社 ウーケ

## 議員提出議案

中期計画の策定、道路特定財源諸税の暫定税率の延長等に関する意見書

地方においては道路整備の必要性が依然として高いことから、道路特定財源制度は現行の税率水準を維持するとともに、あくまで道路に関する事業に充てることが適当である。

今後の見通しにあたっては、受益者負担の趣旨や地方における道路網整備の必要性および財源の確保などに十分考慮されるよう、国に意見書を提出する。

賛成多数で可決とした

「割賦販売法」の抜本的改正を求める意見書

深刻なクレジット被害を防止するため、消費者に対し、安心・安全なクレジット契約が提供されるために、クレジット会社の責任において被害の防止と取引適正化が実現される法制度となるよう、国に意見書を提出する。

賛成全員で可決とした

## 請願

「割賦販売法」の抜本的改正を求める請願

請願者 富山県司法書士会

クレジット取引における消費者の安心・安全を確保するため、割賦販売法の改正について意見書の提出を求める。

賛成全員で採択とした

「非核日本宣言」を求める意見書についての請願

請願者 原水爆禁止富山県協議会

「核兵器廃絶の提唱・促進」と「非核三原則」をあらためて宣言し、核兵器のない世界のための、共同の努力を積極的に取組む意見書として提出を求める。

反対多数で不採択とした

米価の安定対策を求める請願

生産費を下回らない水準で買い上げることと、米の輸入数量を大幅に削減すること、食糧自給率を向上させるために米以外の作物の価格を保障することを求める。

継続審査とした

## 陳情

介護職員の人材確保のために緊急な対策を求める国への意見書採択を求める陳情書

陳情者 富山県医療労働組合連合会

介護制度が十分機能していくための人材確保が課題となっておりことから、介護職員の適切な報酬体系の確立や労働環境の改善などを、早急に図るよう国に求めることを要請する。

継続審査とした

安全な医療と看護・介護の実現、地域医療拡充をはかるため、医師・看護師等の大幅な増員を求める国への意見書採択を求める陳情書

陳情者 富山県医療労働組合連合会

安全でゆきとどいた地域医療の拡充を図るため、「看護職員確保法」などの改正や医師確保に向けた法律を制定することについて、国に対する意見書の提出を求める。

継続審査とした

# 決算特別委員会レポート

《平成18年度決算を認定》

決算特別委員会が、10月18日から10月29日まで開催され、最終日に締括質疑、討論・採決をおこなった。

一般会計は賛成多数、その他の6特別会計は賛成全員で可決した。

## 決算審査の総括

### 平成18年度の概要

実質公債費比率は15%と、他の自治体より健全である。基金を取崩すことなく、さらに基金を新たに積み上げたことも評価する。

インターチェンジの設置や誘致企業の操業開始、市街地活性化の核となる「うるおい館」

の建設がスタートするなど、事業が着実に前進した年であった。

### 歳入

町税は景気の回復や税制改正により2億円増えている。

町税の収納率は県下でトップクラスであり、町民の納税意識の高さを評価する。

しかし、雇用形態や社会構造の変化などにより、滞納額が増える傾向にある。

今後所得税から住民税への税源移譲により、住民税の比率が高まることから、さらに取組みを強化され、収納率が確保されるよう願うものである。

### 歳出

一般会計で、経常経費の削減、事業費の確定により約3億円の不用額が出ている。

今後、財政状況がさらに厳しくなると予想されることから、無駄な支出は一切しないという適正な予算執行を強く望む。

### 学校の耐震化率は県内トップ

黒東小学校の耐震工事を実施し、入善中学校も耐震工事に着手した。子どもたちの安全確保と、災害時における住民の避難施設でもあり評価する。

### 安全・安心のまちづくり

消防庁の協力を得て行なった災害時の図上訓練は、リーダーを増やすためにも継続的に実施することが重要。全地区で自主防災会や防犯パトロール隊が組織された。今後、組織の育成に力を入れたい。

### 環境問題

再生広場に洗浄されていないビンや紙おむつ、ガスボンベなどの危険物の持込みなど利

用が乱れている。住民の理解や意識を高めていくことが大切。当局の更なる対応を望む。

### 健全財政の維持に努めよ

町の財政は健全であると言われているが、実質公債費比率は昨年より上昇している。起債の残高もピーク

時からは減少しているが、まだ大きな重石といえる。

町当局は、今後も更なる行財政改革を進められ、健全財政を維持されたい。

町民が夢の持てるまちづくりに、町長を先頭に職員が一丸となって取り組んでいただきたい。



黒東小の耐震工事を視察

# 常任委員会レポート

## 総務 常任委員会

### 医療費増加の対策を

**Q** 高齢者の医療費が増えている。高齢者が元気でいてもらうための対策を練るべきだ。

**A** 病気の早期発見に努めているが、高齢者が増えているが、なかなか効果が現れないのが現実。

**Q** 70歳以上で一定の所得以上の人の自己負担は、3割になった。町民一人一人の医療費負担増も抑えるべきだ。

**A** 現役並み所得の人の負担が3割になった。70から74歳の人は、平成20年度から1割負担が2

割負担と倍になる予定だが、1年間の凍結が検討されている。

国が決めることなのでいかんともしがたい。

75歳以上の高齢者の検診負担をどうする

**Q** 4月から75歳以上の後期高齢者医療制度が始まる。県の広域連合では、健康診査の一部本人負担を決定した。

**A** ある市では市が肩代わりするところもある。町はどうするのか。

**A** 町では、70歳以上の検診は無料にしている。75歳以上の方については、議会とも相談して検討したい。

### こんな意見も

◎9月と今回の補正で、減債基金からの繰入れがゼロとなったことは高く評価する。

◎町は、県内の市町村で3番目に健全な財政と言うが、大きな借金を抱えている。大型事業を控え健全化を図れ。

## 産業教育 常任委員会

うるおい館の管理運営はどうなるのか

**Q** うるおい館の管理運営費を、どのくらいと試算しているのか。

**A** サンウェルを参考に概算すると、約4000万円から5000万円と予想している。

**Q** サンウェルは、町が運営した後に民間業者を指定管理者にした。

**A** うるおい館を当初から指定管理者で運営するのは、運営費などで問題が出ないか。

**A** 人件費や保険料は試算できる。光熱水費は実績で算出する。

指定管理者は、3月議会で提案したい。

**Q** プロムナード（歩行空間）などの利活用は誰が決断するのか。

**A** 指定管理者だけに任せるのではなく、使用する団体で運営協議会をつくり、企画運営していく。

米価下落による町への影響は

**Q** 米価が大幅に下がっているが、町全体の影響額はどれほどか。

**A** 約3億1000万円ほどである。

簡易水道組合の助成内容は

**Q** 入部12区と上田地区の簡易水道組合への補助の理由は。

**A** どちらも地下水が低下しており、新たな井戸をさく泉するため。

県内産材の利用促進を

**Q** 一般住宅に県内産材を利用した場合、補助する考えはないか。

**A** 舟見森林組合と協議し検討したい。



ママと一緒に 児童センター



威力を発揮するロータリー除雪車

## 新年度予算編成の基本方針を示せ 町長 最終的に約100億円で、基金の取崩しも必要



大林 政雄 議員（アクセス21）

問 町の来年度予算の基  
本方針を示せ。  
米澤町長 来年度の財政  
見通しは、最終的には1

00億円前後の予算にな  
るのではないかと考えて  
いる。

新年度もいくつかの新  
規の大型事業を予定して  
おり、基金の取崩しによ  
る財源調整が必要になる  
ものと思う。

介護を要する高齢者な  
どの負担軽減を

新たに要介護者も障害  
者控除の対象に

問 介護を要する高齢者  
などの障害者控除につい  
て、どのように検討して  
いるのか。  
町長 基本的には認定の  
区分を障害者に準ずる  
者、特別障害者に準ずる  
者の2つに分ける。その

判断は、要介護度と障害  
老人および認知症老人の  
日常生活自立度の組合わ  
せにより判断する。

県内の取組み状況や税  
と保険料に与える影響、  
効果などを含め、総合的  
に判断していく。

消防署の移転新築計画  
を図れ

広域化計画の中に位置  
づけられれば対応

問 消防署は老朽化し手  
狭である。早期に移転新  
築計画を図れ。  
大角消防署長 年々増加  
する救急業務に対応する  
ため、現在では職員26名  
5係体制、消防車、救急  
車など9台の車両が配備

されている。

現在の消防庁舎は手狭  
で老朽化している。

県内では消防広域化計  
画を策定中で、計画の中  
に移転新築が位置づけら  
れれば、速やかに対応し  
たい。

学校周辺や高齢者に  
配慮した除雪を

きめ細かなパトロール  
に重点をおき対応

問 除雪対策では、円滑  
な道路交通を確保すると  
ともに、高齢者や学校周  
辺などに配慮せよ。  
福島建設課長 今冬の除  
雪対策は、4班体制20名  
できめ細かな道路パトロ  
ールに重点をおき、除雪  
の状況、要望あるいは苦  
情の対応にあたりたい。

新会社「ウーケ」の  
進出の効果は

税増、雇用創出、  
地域経済の活性化に

問 新会社「ウーケ」の  
誘致を高く評価する。

今後、立地の評価をど  
う判断し対応するのか。  
林副町長 「(株)ウー  
ケ」の進出は、入善のう  
まい米と良質な水が決め  
手となったものである。  
立地効果としては、固  
定資産税や個人および法  
人町民税の増、雇用創出、  
地域経済活性化などの効  
果が期待できる。

町としては用地の提供  
や立地環境の整備はもと  
より、県と協調した支援  
や町単独の助成なども考  
えたい。

## 誘致企業には土地代無償で、公平・公正といえるか 町長 企業誘致助成は町民サービスを ための投資



町民の大切な足 北陸本線

問 国の「三位一体改革」で、町財政にどれだけの影響を受けたか。地方交付税の増額を国に強く求めるべきだ。

町長 町財政は約6億円削減された。都市の税財源の一部を地方に回すことや、地方交付税の増額を国に要望したい。

づくりであり、町民サービスをを行うための投資である。中小企業には、町商工業振興条例で様々な支援をしている。県の無担保融資制度には、毎年2億円以上を預託し、広く利用されている。

後期高齢者医療制度の十分な説明を

町広報やCATVなどで周知に取組みたい

問 庶民への減税措置が廃止され、住民には大増税なのに、町は、(株)サンリツからは土地代を1円ももらわず、県と町で3年間で約15億8000万円も助成する。

問 後期高齢者医療制度も、保険料が年金から天引きされる。十分知らされもせず保険料が取られる。こんな乱暴なやり方をどう考えているか。

問 要介護者の障害者控除適用を何度も指摘してきたが、実施するか。

問 黒部駅発着の列車について、県公共交通利用促進協議会などで早期に協議したい。



九里 郁子 議員 (日本共産党)

期高齢者医療広域連合が、パンフレットの配布、啓発冊子を送付予定。町広報やCATVなどで周知に取組みたい。

問 国保税の資産割りは廃止すべきである。

健康福祉課長 来年度は、後期高齢者医療への支援金の負担などで、保険税率改正が必須になる。資産割の有無についても検討したい。

問 公共交通を守るため、並行在来線のJR分離では、JR資産の無償譲渡を求めるよう県に要求すべきである。

要介護認定者に障害者控除適用を

平成19年分の確定申告時から対応したい

問 要介護者の障害者控除適用を何度も指摘してきたが、実施するか。

町長 平成19年分の確定申告時から対応できるようにしたい。

問 来年4月から未就学児まで医療費の1割を国が負担するため、町の財政負担が軽減される。

問 黒部駅発着の列車について、県公共交通利用促進協議会などで早期に協議したい。

問 黒部駅発着の列車を、泊駅まで延長するよう求めよ。

鍋谷企画財政課長 無償譲渡などについて、富山県並行在来線対策協議会で国やJRなどに引き続き要望していく。

問 黒部駅発着の列車について、県公共交通利用促進協議会などで早期に協議したい。



本多 幸男 議員 (ウオーム入善)

## 非正規労働者の増加に危機感を持って当たれ 農水商工 格差・貧困対策が重要な課題になる

課 長

問 ワーキングプアの増加を直視すべきである。全国では非正規労働者が3人に1人、1730万人にも達している現実

を、町当局はどのように認識しているか。

寺崎農水商工課長 企業がコスト削減を図るため、正社員を雇用せず、非正規労働者を多数採用するようになってきた結果である。

全国で年収200万円以下の労働者は、1000万人以上という報告もあり、格差と貧困問題への対策が重要な課題になってくると思われる。

町内企業での派遣労働者の実態は

外国人も含め約400人が派遣で働いている

問 入善町の企業で派遣

労働者をどの程度受入れているか。

また、労働条件と健康診査の実態はどうか。農水商工課長 11月末現在、外国人も含め約400人働いており、ここ数年、増加の傾向にある。

正社員とは、給与はもとより、福利厚生面での格差はあると認識している。地元の若者の正規採用を要請せよ

さらに努力していく

問 町長は、若い正社員を1人でも多く採用してもらえよう、各企業廻りをして要請すべきと思

うが、その決意はどうか。町長 これまでも要請しているが、さらに努力したい。

サンリッツの現状と誘致の成果は

税収増、商業活性化、若者の定住に期待

問 町民注視のサンリッツは操業2年目に入ったが、現段階でどのように評価しているか。

町長 これまで116億円を投資し219名の雇用で操業している。町としては今後の税収増、商業活性化、人口増でも、大きく期待している。

アワビ養殖の実験と今後の取組みは

計画的に新循環システムを導入すると聞く

問 深層水によるアワビ

養殖は、5年経過しても軌道に乗っていない。去るも地獄、残るも地獄になっていくのではないか。夢の事業として推奨してきた町長と執行部には重大な責任がある。

オゾン発生装置による実験の現状と、今後の機材購入費などの重要課題を、どのように考えているのか。

副町長 町が去年6月に、850万円を助成し、オゾン発生システムによる水質改善の実験をしているが、順調に推移しており成功を期待している。これらの改修が最良であるとの裏付けができた段階で、計画的に40槽のフル操業に持っていきたい。「入善深層水アワビ」の成功が、入善町の活性化にもつながると考えている。



アワビ養殖実験の説明を受ける議員

## 老朽化の進んだ地区公民館の耐震改修は

### 町長 中長期的な計画の中で

### 年次的な対応を検討



耐震改修工事が待たれる農村環境改善センター（飯野）

問 町は安全安心のまちづくりを進めている。災害時に住民の避難所として使用される地区公民館の老朽化が進んでい

る。

耐震化、改修の考えは。

町長 安全安心のまちづくりを推進する観点から学校・庁舎などの耐震化が終わった時点で、次なる施設の耐震化、改修について調査も含め検討する必要がある。

しかし、限られた財源の中で、数多くの町有施設を短期間に耐震改修することは困難である。

総合計画の中で、優先順位を決め中長期的計画のもと、年次的対応を検討してまいりたい。

非正規社員の増加に伴う  
税収納率低下の対策は

勤務先での特別徴収を  
依頼し対応

問 雇用形態の多様化による、非正規社員の増加に伴い税の未納が増える傾向にある。

今後高い収納率を維持する対策は。

真岩税務課長 町は納税者に口座振替の推進、納税相談の実施、訪問徴収や電話での督促など納税に理解していただき、高い収納率を維持してきた。しかし、非正規社員、特に若年層に住民税の未納がみられる。

転居、転出が頻繁であり、また、収入も季節により大きく変わるなど納税環境が整わない問題もある。

勤務先へお願いして、給与からの天引である特別徴収をしていただくよう対応している。

今回のあわび養殖実験  
の経過は

水質改善を行い生存率  
98%の高率を維持

問 過去のあわび養殖の失敗をふまえて、今回の実験の経過は。

農水商工課長 あわびの害となる飼育水槽内の硝酸値の上昇、深層水に含まれる酸素不足が飼育環境を悪化させてきた。

今回の実験は大量の空気を送り込む設備やPH

調整槽を設置。さらに、オゾン発生機と紫外線照射を導入したことにより、あわびの生存率は98%の高い値を維持している。

今後の施設整備の方向性は

新循環システムの飼育  
槽を計画的に導入

問 現在の実験成果を踏まえ今後の施設整備の方向性を問う。

農水商工課長 入善漁協は、今回の飼育実験データをさまざまな角度から検証している。

養殖に対し、今後も引き続き良い裏付が期待できる段階で、新循環システムを導入した飼育槽を計画的に増やしていきたい。



長田 武志 議員



議会を傍聴する新人職員研修

## 協働のまちづくりと区長会の育成を 副町長 区長を中心としたまちづくり組織の 育成を検討



鬼原 征彦 議員

問 町長は、まちづくり懇談会で行政と住民による協働のまちづくりを強調した。

答 その最先端が区長会である。地域のまちづくり団体として育成強化する考えはないか。

副町長 これからのまちづくりの基本は、自助・共助・公助、そして町民との協働のまちづくりである。

区長さんは、様々な場面において活動されており、協働のまちづくりの中心的存在であると認識している。

各団体間の連携、組織面の充実として、例えば区長を中心としたまちづくり組織の育成、地域の活動拠点となる地域センターの設置などについて検討したい。

三位一体改革による総合計画への影響は財源不足による行政の停滞は相いてはならない

問 三位一体改革による町総合計画への影響はどうか。

副町長 三位一体改革は、地方の自立につながるものではなく、一方的な地方財源の削減となった。

町でも6億円余りの影響がでている。総合計画を中心とした計画行政を進め、一方では徹底した行政改革でその影響額を最小限にとどめたい。

現在総合計画のローリング作業を進めており、財源確保に苦慮している

が、財源不足による行政の停滞、住民サービスの低下は招いてはならないと思っている。

職員の意識改革に期待するものは

「人材育成基本方針」を策定、資質向上に努める

問 分権改革以来、自己決定、自己責任の時代へと変化してきた。

組織として職員の意識改革に期待するものはないか。

副町長 地方分権の時代に対応すべく、「人材育成基本方針」を策定した。

全職員の接遇研修はもとより、政策立案、実行能力や専門性を高める研修の実施などにより、職員の資質向上に努めている。

今後は長期的視野にたつて、レベルの高い行政能力や専門的な知識を持つ人材の育成、柔軟で実行力のある組織づくり

を目指したい。

高齢者虐待の実態把握とケア体制は

児童の虐待も含めた相談窓口を設置

問 平成18年4月、高齢者虐待防止法が施行された。

市町村には「相談、指導、助言」の窓口設置、連携協力体制の整備、保護に関する事務などを義務付けた。

本町における窓口設置と虐待の実態はどうか。

健康福祉課長 町では、平成17年度から、相談窓口や関係機関との連携・協力などを明確にした体制を整備している。

新年度からは児童の虐待なども含めた総合窓口を設置したい。

相談は家庭内での身体的虐待が平成17年度は4件、18年度は3件、本年度は相談を受けていない。

## シルバータクシーを制度化せよ 町長 福祉面や財政面など様々な角度から 検討する

問 町営バスを利用する高齢者から、便数が少なく、運行日、運行時間が限定されているなどの理由で、通院や商店街の買い物にほとんど利用出来ないのが現状である。



元気はつらつ記録会

高齢者にとって最高の移動方法として、シルバータクシーの制度がある。但し、運賃の面で工夫の必要がある。行政が積極的な役割を果たすのはもちろんのこと、医師会、金融機関、商工会、ほか関連ある業種の方々の支えが必要である。

町営バスの増車を考えるのではなく、シルバータクシーの方が、町民ニーズに沿ったものと考えるが、どうか。

町長 運転の出来ない高齢者などの、日常生活の足の確保については、全国的にみても大きな問題であると認識している。現状で十分であるとは言

い切れず、高齢者の経済的負担面での課題が残るのも事実である。

シルバータクシー制度については、需要や効果、方法などについて、行政と民間それぞれの見地から、福祉面や財政面など様々な角度から今後検討したい。

小学生の体力、運動能力が低下しているのでは  
入善町の子供は全国平均を上回る

問 小学生の運動能力は、20年前をピークに低下し始め、ここ10年間は低水準のまま推移している。

町の小学校の実態は、

文部科学省が公表している数値と比較してどうか。滝本教育長 昭和50年代をピークに体力、運動能力が低下傾向にあることが明らかである。

入善町の状況は、小学校低学年では、全国平均とほぼ同程度であるが、学年が進むにつれて全国平均を上回る傾向がある。

全国的に運動能力が低下した要因として、TVゲームやパソコンの普及などにより、外に出て遊ぶ機会が少なくなったことや、家族に登下校の送迎をもらう生徒もよく見受けられ、これも運動能力低下の原因の一つと考えられる。

最近では、田舎育ちよりも、都会育ちの児童生徒の方が歩く機会が多く、体力、運動能力が高い傾向にあることが明らかにされている。

入札参加選定要領が変更された理由は  
業者選定の運用基準を追加した

問 平成18年10月に各社へ送付した入札参加選定要領が、平成19年2月の格付けで変更されている。その理由は。

副町長 入札参加選定要領は、以前から公表しており、平成18年10月に一部改正を行った。

19年2月には、入札参加者の運用基準を一部追加した。

業者選定の運用基準として、「会社および会社を代表する役員において、不誠実な行為があった場合、指名しないこと」を追加した。

ランクづけの基準は変更していない。



上野 等 議員



3月末で閉館となる武村福社会館

## 「入善まちなか交流施設うるおい館」の業務を明示せよ 町長 管理基準などは現在検討中。利用しやすい 施設となるよう十分配慮する



大橋 美椰子 議員

問 4月1日より指定管理者による管理となると聞くが、開館前の受け付けはどうか。必要な事項は規則で定めるとあるがいつ示すのか。

市街地の活性化につながる使い方を示せ。

町長 今年度中は武村福社会館で受け付ける。4月以降の福社会館の開閉などの管理は教育委員会が行う。

マルチルームでは防音設備が整っており、バンド活動やミニライブ、ミニシアターなどの使い方ができる。メディアコーナーではインターネットができる環境整備をしており、高校生などが立ち寄れる空間だ。  
3階には女性センターがあり、各種女性団体の活動拠点としての利用が可能になる。  
詳細な管理基準などは

現在検討中であり、利用しやすい施設となるよう十分配慮していく。

「いじめ」の早期発見・解決への具体策は

全校体制で組織的な対応ができる土壌づくりを

問 いじめの早期発見・早期解決への具体策を示せ。

県外では生徒の主体的取組みとして「君を守り隊」や「いじめ反対」のリップスを胸につけるなどの運動を展開し、効果をあげている。

取入れてはどうか。  
教育長 18年度調査ではいじめの定義が見直しされた。

町の小・中学校においても本調査を行い、43件のいじめがみとめられた。

19年度に入って再調査したところ、すべて解決済み。

いじめは「冷やかしかやらかい」「パソコンや携帯電話による誹謗中傷」のほか、「仲間はずれや集団による無視」「軽くぶつかられたり、叩かれたりする」などがある。

対応策として日頃より教師が児童生徒とコミュニケーションをとり、信頼関係を築く一方、保護者とも連携を図り、情報をキャッチすることが有効である。

また、全校体制で組織的な対応ができる土壌づくりが大切である。いじめを許さない意識高揚のための、生徒の自主的な取組みは成果を上げていると聞いている。

町においてもいじめの撲滅に向けて、何かよいアイデアがないか、学校とも対応を探っていく。

4月から保険料を払う後期高齢者への対応は

3月と4月に保険証と香典を同時送付

問 4月から後期高齢者医療制度が始まるが、保険料納付者への通知はいつごろ届くのか。

健康福祉課長 新医療制度は、75歳以上の全ての高齢者、または65歳以上で一定以上の障害のある方々が対象である。

4月1日に被保険者となる予定の方で、今の国保加入者の方には3月に、その他の保険加入者には4月に、保険証と啓発冊子を同時に送付する。

## 第2次行財政改革大綱の実績を評価分析せよ 町長 計画項目の59%進捗し、職員削減は 早く進んでいる

問 平成17年3月、第2次行財政改革大綱が見直しされ3年経過した。毎年度の進捗管理の仕組みを示せ。また実績を評価分析せよ。



今までと変わらぬ「おいしい楽しい給食」(試行中の上青小学校)

町長 行財政改革推進委員会を構成して進捗を公表している。

平成19年度では実行計画に登録した54項目のうち、32項目59%まで進捗し、予算で約1億5千990万円削減した。職員削減では、3年間で301人から268人となり計画よりも早く進んでいる。

無理な職員数の削減はないのか

公務効率の向上に努めた結果と考える

問 計画より10人前倒しで削減されている。実力が伴った削減なのか、無理は無いのか。

西川総務課長 住民サービスを低下させず、新規の行政需要にも、スクラップアンドビルドを基本として対応している。

指定管理者制度の導入や組織・機構の見直しなど仕組み改善、共通事務のネットワーク化などで、公務効率の向上に努めた結果と考える。

今後更に、職員の資質向上、業務や施設管理の民間委託、OA化などを進めていく。

学校給食と財政改革を両立させる考えを示せ

地産地消を駆入れサービスの維持に努める

問 給食の職員数が全国

と比べて多く、行財政改革のテーマとなった。

「学校給食」と財政改革を両立させるための考えを示せ。

教育長 町は、食は教育の一環として、安全で新鮮で、美味しい給食の提供に努めてきた。

学校給食検討委員会の「共同方式や民間委託」の答申を尊重し、自校方式に勝るとも劣らない方式を目指す。

今後とも「地産地消」を積極的に取入れ、給食のサービスを維持することが努めと考える。

共同調理のメリットがないのならやめるべき  
年間効果は2100万円

問 2校共同調理方式の試行を進めているが、その効果を検証せよ。メリットが無いのならやめるべきだ。

小森教育委員会事務局長 現行の人員費、維持費などから、共同調理に伴う費用を差し引いた効果は、年間2100万円で大きなメリットが期待できる。

保護者や地域に十分説明責任を果たせ

誠意を持って説明し共同方式の理解を深める

問 町議会も上青小学校の試行状況を、現地で確認してきた。

食の安全、食味など問題が無いなら、町は保護者や地域に十分な説明責任を果たせ。

事務局長 試行状況を保護者などに見てもらい、試食もしていただいた。

参加された皆さんは、概ね料理の味や温度も問題ないとの感想だった。

今後とも、誠意を持って説明し、共同調理方式への理解を深めたい。



中瀬 範幸 議員



出荷作業に追われる美味しい入善米

## 米価暴落を招いている国の農業政策を 抜本的に改めるよう政府に求めよ 町長 国の検討・調整を見極めて対処する



松田 俊弘 議員

問 米価の暴落で農家は危機的な状況だ。原因は政府の市場原理まかせのコメ政策と、品目横断的経営安定対策にある。これらを根本的に改め、農産物の価格補償な

どで農家を支援し、輸入米は海外援助に振向けよう政府に求めよ。

農水商工課長 国は、生産調整へのメリット措置や品目横断的経営安定対策などの検討・調整を行っており、動向を十分に見極めて対処する。

輸入米については、県および近隣市町村と歩調をあわせ対応したい。

問 借入れなどの支払いが困難な農家に、無利子の追加融資や補助などを検討せよ。

農水商工課長 プロ農家育成支援事業の利用状況を念頭に入れ、農業振興基金を有効に活用できるよう、検討したい。

問 古黒部のホタルやシジミなどの希少動物を守り、自然豊かな産地づくりで、さらに町のコメの評価を高めよ。

農水商工課長 今年の農業節減の実績などを検討しながら、関係団体と連携をとって、さらなる前進を図りたい。

問 文科省は、学校給食の主要目的を「栄養改善」から「食育」に転換することだ。食糧を生産する側、調

理する側と食べる側が、互いに顔の見える町の自校直営の学校給食は、食育の観点でも最も優れたものと思うがどうか。

教育長 学校で、給食を準備する姿が見えなくても、栄養教諭や教職員が給食指導を行うので、食に対する理解を得ることができる。

問 近くの学校へ出かけて調理をする姿を見ることが可能だ。

問 ほとんどの保護者や多くの住民は、今の給食を続けることを強く願っている。それでも町は、共同調理方式に切り替えるのか。

教育長 共同調理方式に対する疑問や不安などが関係者から出ており、理解はまだまだ浸透していないと考えている。

保護者、地域の方々と話し合い、理解が得られるよう努めたい。

下水道接続で経済的に困難な人に支援を  
国や県の動向を見て検討したい

問 国は、下水道への接続工事で経済的に困難な世帯のために支援を計画している。

国が財政措置をとれば、町もこれに取組むか。

西田下水道課長 国や県の動向を見極めながら十分に検討していきたい。

問 町では2つの浄化施設が不要となり、相当の経費削減ができた。

この効果を、低所得者などを対象に、基本料金の引下げを検討する余地はないか。

# 議長 谷口一男氏

# 副議長 松澤孝浩氏

11月1日に臨時会を開会し、新しい議長・副議長並びに委員会構成を改める

## 議長

谷口一男

この度、議長に就任致しました。誠に光栄でありますと共にその責任の重さを痛感する次第です。もとより浅学非才であります。公正無私を心がけ町政発展に全力投球で頑張る覚悟です。格差社会と叫ばれ地方にとって厳しい状況です。町民各位のご指導とご叱正をいただき、乗り切る所存です。よろしくお願い致します。

## 副議長

松澤孝浩

この度、臨時会において、議員各位のご推挙により副議長の要職に就任することになりました。公平・公正を旨としまして、町民の目線に立ち、まちづくりを目指し取組んで参る所存です。諸先輩をはじめ、町民各位のご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い致します。

## 常任委員会

### 総務

委員長 松田 俊弘  
副委員長 鬼原 征彦  
委員 大橋美椰子  
委員 谷口 一男  
委員 元島 正隆  
委員 本多 幸男  
委員 大林 政雄

### 産業教育

委員長 山下 勇  
副委員長 中瀬 範幸  
委員 長田 武志  
委員 松澤 孝浩  
委員 上野 等  
委員 五十里隆章  
委員 九里 郁子

## 特別委員会

### 議会運営委員会

委員長 元島 正隆  
副委員長 本多 幸男  
委員 中瀬 範幸  
委員 松田 俊弘  
委員 山下 勇  
委員 九里 郁子

### 議会広報編集特別委員会

委員長 大橋美椰子  
副委員長 鬼原 征彦  
委員 松澤 孝浩  
委員 松田 俊弘  
委員 山下 勇  
委員 上野 等

## 監査委員

五十里 隆章

### 新川地域介護 保険組合議会議員

議員 中瀬 範幸  
議員 松田 俊弘  
議員 谷口 一男

### 新川広域圏 事務組合議会議員

議員 長田 武志  
議員 谷口 一男  
議員 元島 正隆

## 農業委員

山下 勇

# カンボジア研修で感じたこと



中学校2年

\*\*\* くん

世界遺産のアンコール・ワットを見てきました。木々の緑の中に遺跡があり、とても奇麗な景色でした。

遺跡は、砂岩で作られていましたが、遺跡の上に、大きな木の根っこが遺跡を抱えるように守っていて、自然の力のすごさを感じました。

カンボジアの子どもは、恵まれない環境でも必死に勉強していました。また、生活のため観光客に対して舟から船に移り渡ってジェー・スなどを売ったり、客集めのために蛇を首に掛けたりしていました。しかし、子どもたちは嫌な顔もせず、目をキラキラと輝かせていて、とてもいきいきしていました。それは現代の日本では、とても考えられないことであり、日本とい

う恵まれた国に生まれ育った自分の生き方について考えさせられました。

もし、カンボジアの子どもたちが、日本に来たら、ぼくたちの生活（自然、衣、食、住、遊び）などについてどう思うでしょう。

カンボジアはとても暑く、また生水を飲むことができないので、常に旅行中はミネラルウォーターを持ち歩きました。

食べ物に関しても同様です。カンボジアのお米はもっちりとした感じがなく、あまりおいしいとは思いませんでした。それに比べ入善米がおいしいのは、山からのきれいな水のおかげかなと思います。

入善町は、私たち町民には住みよい町ですが、便利な生活に慣れ、整備される

ことが当たり前になっていきます。それによって、失われるものもたくさんあると思います。例えば、川が整備されたことによって、メダカなどの水中に住む生き物やホタルが生息できなくなり、また山では木が伐採され、クマなどの動物のエサがなくなり、人間

の住む場所にまで下りてくるようになりました。これからは、豊かな自然を大切に、自然と人間が共存できる入善町になればいいと思います。そのために、自分のできることを考え、小さなことから始めたいと思います。



平成19年度中学生カンボジア王国派遣事業

## 編集の窓

2008年の幕が明けました。昨年を表す一文字は「偽」でした。政治、経済、社会の各分野にわたって、ウソや隠し事が余りにも目立ちました。今年は一「信」を取戻し、「真（まこと）」を尽くす年でありたいものです。

議会は、行政当局の施策について、町民の視点に立って、論戦を交わしていく決意です。当委員会も、そのことを正しく、分かりやすく、町民のみなさんにお伝えすることを、改めて肝に銘じているところです。本年もよろしくお願ひします。

### 議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 谷口 一男 |
| 委員長  | 大橋美椰子 |
| 副委員長 | 鬼原 征彦 |
| 委員   | 上野 等  |
| "    | 山下 男  |
| "    | 松田 俊弘 |
| "    | 松澤 孝浩 |